

令和5年度 年間指導計画

A科:生物科学科 B科:環境科学科 C科:食農科学科

教科名	農業	科目名	総合実習	単位数	2	履修学年・クラス	1B
担当者		使用教材	なし				
学習目標	測量や造園に関する体験的な学習を通して、総合的な知識と技術を習得する。						
学習方法	基本的な測量実習、造園実習						
学習評価	評価の観点		科目の評価の観点的趣旨				
	知	知識・技能	測量や造園に関する基礎的・基本的な知識や技術を身に付けている。				
	思	思考・判断・表現	実習の課題を思考し、結果を判断し、改善方法を表現できる。				
	態	主体的に取り組む態度	測量や造園について興味・関心を持ち、主体的に取り組んでいる。				
※定期考査については、上記の観点それぞれについて学習内容に応じて適切に配分しています。							

学期	単元(題材)	学習内容	評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			知	思	態		
前期中間	<ul style="list-style-type: none"> ・距離測量 ・水準測量 ・道具の使い方 ・盆景の作成 ・庭園の種類と歴史 	<ul style="list-style-type: none"> ・2点間の水平距離を往復測定する。 ・中間点を設け、較差を許容精度内にする。 ・スタッフの読み方を習得する ・レベルのすえつけ方を習得する。 ・各点間の高低差を求める。 ・ミニチュアの庭園を作成する。 ・庭園の種類と歴史を学ぶ。 	○	○	○	[知] 〇 〇 〇 器械や道具の名称や使い方の知識や手順を身に付けている。 〇 〇 〇 [思] 〇 〇 〇 実習の注意点、ポイントを述べることができる。 〇 〇 〇 [態] 〇 〇 〇 測量や造園に関心を持ち、主体的に取り組んでいる。	確認テスト レポート 授業観察
前期末	<ul style="list-style-type: none"> ・角測量 ・水準測量 ・樹木の剪定 ・樹木の特性忌み枝 ・下草刈り ・インターロッキング 	<ul style="list-style-type: none"> ・セオドライトのすえつけ方を習得する ・単測法で水平角を求める。 ・縦断方向の高低差を求める。 ・剪定の必要性和剪定期期を学ぶ。 ・剪定しなければいけない枝を知る。 ・剪定技能を身に付ける。 ・刈り払い機の正しい使い方を習得する。 ・インターロッキングブロックを用いて舗装工事を行う。 	○	○	○	[知] 〇 〇 〇 器械や道具の名称や使い方の知識や技能を身に付けている。 〇 〇 〇 剪定や庭園の知識や技能を身に付けている。 〇 〇 [思] 〇 〇 〇 実習の注意点、ポイントを述べることができる。 〇 〇 〇 [態] 〇 〇 〇 測量や造園に関心を持ち、主体的に取り組んでいる。	確認テスト レポート 授業観察
後期中間	<ul style="list-style-type: none"> ・角測量 ・水準測量 ・四つ目垣の作製 ・いぼ結び ・竹柱の取り扱い ・道具の使い方 	<ul style="list-style-type: none"> ・多角形の内角を求める。 ・横断方向の高低差を求める。 ・四つ目垣を作製する。 ・いぼ結びを習得する。 ・スコップや木ばさみ等の正しい使い方を習得する。 	○	○	○	[知] 〇 〇 〇 器械や道具の名称や使い方の知識や技能を身に付けている。 〇 〇 〇 [思] 〇 〇 〇 実習の注意点、ポイントを述べることができる。 〇 〇 [関] 〇 〇 〇 測量や造園に関心を持ち、主体的に取り組んでいる。	確認テスト レポート 授業観察
後期末	<ul style="list-style-type: none"> ・等高線 ・土量計算 ・地形図 ・冬囲い ・アーク溶接 	<ul style="list-style-type: none"> ・等高線を理解し、等高線を書く。 ・盛土と切土の土量を求める。 ・縮尺を理解し、距離と面積を求める。 ・緯度と経度を求める。 ・冬囲いの必要性和手法を学ぶ。 ・アーク溶接の基礎知識と技術を学ぶ 	○	○	○	[知] 〇 〇 〇 地形図の知識や作図の方法を身に付けている。 〇 〇 〇 冬囲い、竹垣や灯籠の知識や技術を身に付けている。 〇 〇 〇 [思] 〇 〇 〇 実習の注意点、ポイントを述べることができる。 〇 〇 〇 [関] 〇 〇 〇 測量や造園に関心を持ち、主体的に取り組んでいる。	確認テスト レポート 授業観察